

テニユア・トラック教員 片岡 正典（かたおか まさのり）総合研究センター特任講師が平成 25 年度第 2 回「A-STEP（研究成果最適展開支援プログラム）起業挑戦タイプ」に採択されました。

「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業テニユア・トラック教員片岡正典（かたおか まさのり）特任講師が代表者を務めるプロジェクト「医薬品利用を指向したリボヌクレオチド関連化合物の大量合成技術の開発」が去る 11 月 25 日、独立行政法人科学技術振興機構の平成 25 年度第 2 回『A-STEP（研究成果最適展開支援プログラム）起業挑戦タイプ』に採択されました。

後日、今回の採択について、脇口宏学長に小槻日吉三研究担当理事とともに報告を行い、学長からは祝意とさらなる活躍を期待する言葉が述べられました。

A-STEP は、大学・公的研究機関等で生まれた国民経済上重要な研究成果を実用化につなげるための技術移転支援プログラムであり、その中でも起業挑戦タイプは『大学などのシーズに基づく、成長力あるベンチャー企業設立のための研究開発を支援』を目的としています。

今回の採択は、片岡特任講師の研究技術に対する独自性、優位性が高く評価されたものであり、今後のさらなる社会貢献が期待されます。

#### 【採択課題】

医薬品利用を指向したリボヌクレオチド関連化合物の大量合成技術の開発

#### 【研究者代表】

高知大学 総合研究センター 特任講師 片岡 正典

#### 【研究概要】

核酸医薬として期待される短鎖 RNA や低分子リボヌクレオチド類、すべての核酸塩基と塩基対を形成するユニバーサル塩基 PPT などを低コストで大量に生産する技術を確立し、起業を目指す。

#### 【研究開発費総額】

1 億 5 千万円まで。別途、起業支援経費として 1, 5 0 0 万円まで

#### 【研究開発期間】

最長 3 年間



同大学学長室にて  
左から、小槻日吉三研究担当理事  
脇口宏学長、片岡正典特任講師